

## 鵜沼地区 総合防災訓練・参加レポート

「地区の防災訓練って町内会・自治会の役員さんのためでしょう？」いえいえ、地域住民みんなのためのものです！毎年回覧板でお知らせを回しています。町内会自治会活動に普段参加していない方も大歓迎のイベントです。

今回は鵜沼小学校での開催でした。参加者の声と共にお伝えします。ちなみに今年は鵜沼小学校で10月開催の予定です。「ハロウィン来たら防災訓練！」ですね！

### 3 避難施設体験 (数字は右図訓練マップの場所を示します)

「え！避難施設のスペースってこんなに狭いの!!」「しかも荷物持ってここに来るのよ」避難施設の大変さが実感できます

### 3 医師会・歯科医師会・薬剤師会

いつもお世話になっている先生方が地域防災のチームに入っていてくださる心強さ！当日の各ブースでは資料やファイルなどの配布もあって情報満載でした。いざという時はよろしく願いたします



### 3 救急救命訓練

AED、いざという時に使えますか。一度体験しておく、誰でも簡単に使える仕組みです。ぜひご体験を！



### 3 応急手当訓練

ラップやポリ袋など身近なもので、治療を受けるまでの急場をつなく方法です。お子さんのいるご家庭などでは特に、普段役に立つのでは？

4 浸水歩行体験 用意された長靴に履き替えて、ヒザより低い水流の中を歩いてみるというものです。体験者は「あんなに歩きにくいとは

### 訓練会場見取り図



## 防災講演会報告



## 大規模災害における 藤沢市医師会の対応

11月17日(金曜日)午後、藤沢市医師会ご協力のもと、村田尚彦医師(藤沢市医師会理事)による防災講演会が鵜沼市民センターにて開催されました。

まず地域で懸念される大規模災害とはどのようなものか、それに対して私たちが

できることは何か、という一般的な防災知識から始まり、「健康のためにウォーキングをされている方は多いと思いますが、そのついでに、ご自分の足で10分

どこまで逃げられるか、ま

写真は当日の様子とスライドの一部。円内は講師の村田尚彦医師。スライドの一部は『鵜沼自治連だより』のフェイ

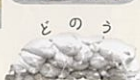
思わなかった。ましてや災害で足元が見えなかったり足場が悪かったりしたらとても歩けたもんじゃないですよと驚いていました



**6 防災クイズラリー&防災紙芝居**  
子どもたちの元気な姿が会場を彩りました。鶴小PTAの皆様、ご協力ありがとうございました(^^)



**4 浸水歩行訓練**



展示

ース

ース

ブース

**10 ロープワーク訓練**

**11 災害用トイレ展示**



**11 災害用トイレ展示**

こんな感じになっているんですね。ちなみに藤沢市小中学校のマンホールトイレは「汲み取り式」です

た道筋に防災上危険な箇所はないかなど、日頃から気にされるのも大切です」と、医師ならではの視点からのアドバイスがありました。

応急手当、発災時の県と市の医師会の備え、具体的な病院名をあげての透析患者への対応などが語られました。

大規模災害が起きた時、当スブックページにても公開中です

消防団の皆様、いつもありがとうございます！

**15 煙体験訓練**

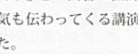
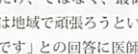
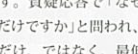
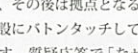
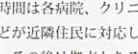
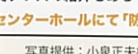
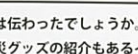
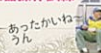
**16 消防車展示**



**14 土のう作り訓練**



**12 消火器操作訓練**



**14 土のう作り訓練**

やってみました。腰がツライです。それを運ぶのはもっと腰に来ます。火事場の馬鹿力を期待する他ありません。土のうに替わる、最新の軽量な製品を試してみたいと思いました

**13 獣医師会ブース**

家族の一員でもあるペット。災害時の対策について展示などがありました。でも子どもたちはワンちゃんに夢中！



**10 ロープワーク訓練**

最近では結ぶ機会が減りましたが、クラフト手芸としても面白いとの声もありました



**12 消火器操作訓練**

消す動作に入る前に、「火事に気がいたらどうしますか」との問いかけがありました。まず119番するなど周りに知らせる行動が必要です。消火に集中しすぎでご自分の安全をお忘れなく

雰囲気は伝わったでしょうか。来月には身近な町内会・自治会の普通の防災活動状況や、防災グッズの紹介もあるイベントがあります。**2月10日(土)午後1時半より鶴沼市民センターホールにて「防災事例発表会」**こちらぜひお越しください。

写真提供：小泉正夫様、前田貴美子様、和田淑子様 ご協力ありがとうございました

**市長との意見交換会 11/15**

鈴木恒夫市長と自治連役員・常任理事が、鶴沼市民センターにて、町内会・自治会の課題について意見交換をしました。



町内会・  
自治会紹介

一木公園

いちき  
一木会

小田急鶴沼海岸駅から湘南学園方面にまっすぐのびる一木通り界隈は、昔から別荘地として名高い鶴沼にありながら準商業地区、非風致地区、風致地区を併せ持つ多様な住宅地として発展してきました。中央には子ども達の遊ぶ姿の絶えない一木公園があり、便利で住みやすい所です。

「一木会」は一木通りの一部分左右145世帯(戸建100、アパート45)の小さな町内会で、設立は2016年1月、鶴沼自治連には6月1日付で加入しました。新しい形の町内会を模索すべく発足当初は110世帯でスタートし、市民自治推進課・鶴沼市民センターのご助言を頂きつつ、全くのゼロから会員全てで町内会を創るんだという熱意で、防災倉庫や掲示板、そしてイベントまで生み出すことができました。

2016年8月には防災危機管理室(現・危機管理課)のご協力で起震車体験をメインにした防災イベント、2017年10月には藤沢警察署のご協力で防犯講話、そして消防署関係の一木会会員による防災講話の集いを市民センターで開催。午後には会員親睦を計るBBQ大会で、のべ参加者は主に戸建世帯100世帯中43世帯に及びました。

新町内会ができて何よりも良かったことは、親の世代から住んでいる人もここ十年内に越してきた人も一緒に活動に参加していることです。BBQ大会もそのような若い世代の発案で開催されました。

津波や液状化の脅威ある鶴沼だからこそ、全員が何となく顔の知れたコミュニティとなること。それが災害が起きた時互いに助け合う「共助」へとつながる一歩ではないでしょうか。またそれは小さな町内会だからこそできることだと思います。生まれたばかりの一木会ですが、今後ともよろしくお願致します。(防災・広報担当 岩崎康成)

こどもを  
みまわる  
ひとびと

鶴沼元気塾は鶴沼地区郷土づくり推進会議が主催する、小学校3年生から6年生の子どもたちの放課後の居場所です。宿題や学習に大人が側で見守る事が大切との考えから、4年前にスタートしました。鶴沼市民センターで毎週木曜日の午後4時から5時半まで、現在26名の子ども達が集まっています。この時間を支えてくださっているのが14名のボランティアの先生方です。

まず個々に宿題をする時間を持ち、後半の約40分間は、全員と一緒に時事の話題、理科の実験、もの作り、音楽、国語や算数のクイズ的な学習など、先生方の知恵と多彩なアイデアで楽しい学習をしています。また時にはホールでの遊びを交え



上: 鶴沼元気塾

て温かい交流の時間も持っています。

一昨年より本鶴沼にも町内会のご厚意で町内会館をお借りすることができたことから「鶴沼元気ひろば」を開設しました。毎週月曜日15名の子どもたちと6名のボランティアの先生方で宿題等の学習や工作などで楽しい時間を過ごしています。中学校へと巣立った子どもたちが、訪ねてくれた時はとても嬉しい気分になります。



このようなひと時を皆さんも味わってみませんか。ボランティアの先生を募っています。

左: 鶴沼元気ひろば

**NEWS** 1月7日(日) 鶴沼市民センターホールにて新年賀詞交歓会がありました。例年通り自治連、地区社会福祉協議会、公民館サークル交歓会がともに主催しました。



**編集** 道で転んで泣いている子どもを家まで送り届けました。近くにいた女子高生がその子の自転車を引き、坊やに話しかけながらずっと付き合ってくれました。その優しい姿に心がぽっと温まりました。(M)